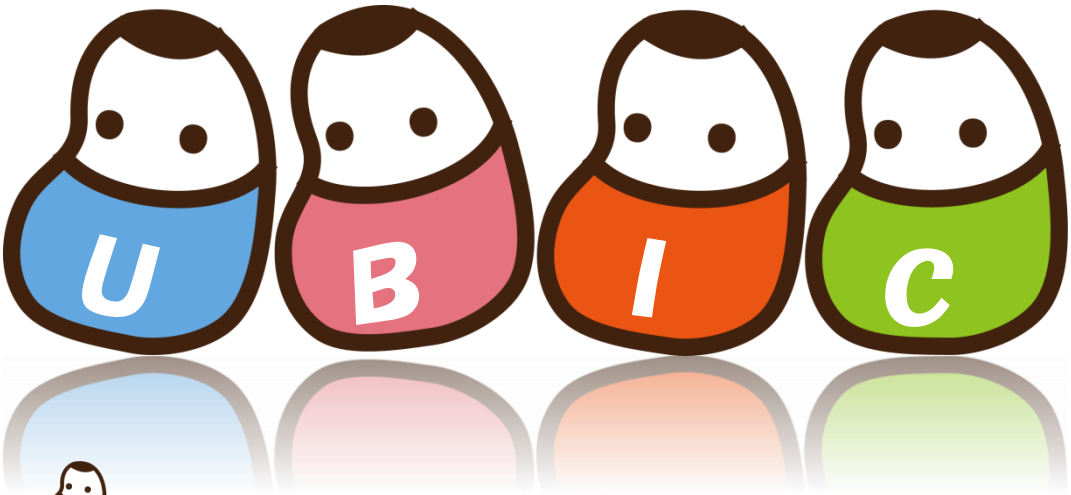
UBIC NEWS

University-Business Innovation Center

会津大学
産学イノベーションセンター



産学イノベーションセンター（UBIC）について … P 1 ～ 2

UBICの主な取組 … P 3 ～ 4

LICTiAの主な取組 … P 5

研究技術の活用 … P 6 ～ 9

教育活動・起業サポート … P 10 ～ 11

UBIC利用案内 … P 12 ～ 14

2018年8月発行

UBICニュース

第16号

1. 産学イノベーションセンター（UBIC）について

イノベーションの創出、産業の振興・発展を目指して

会津大学産学イノベーションセンター（略称：UBIC）は、会津大学と企業や地域が
連携して研究を進めていくための産学官連携の拠点施設です。

地域や企業に開かれた総合窓口として、
企業等との共同研究をはじめ、
大学の研究や特許の紹介、
大学発ベンチャーや起業家の育成、
各種セミナー等の開催により、
産学連携を推進しています。

また、企業等の技術相談や
経営相談に応じるとともに、
企業と大学研究者とのコーディネート活動を行い、
産業創出・地域活性化のために活動を進めています。

UBICセンター長あいさつ

会津大学は、最先端のコンピュータ理工学の研究・教育に特化した大学です。この特徴を活かし、福島県内外のIT関連企業の皆様や、福島県の市町村や市民の皆様との連携により、産業の活性化、IT人材育成、雇用拡大に力を注いでまいりました。ICTの拠点化による復興支援を目指し開所した先端ICTラボも約3年が経ち、AOI会議など多くの方々に利用いただいています。今後は、産学イノベーションセンターと先端ICTラボを総合的に活用し、産学官連携をさらに強化し、産業の振興、復興支援、さらには新たなイノベーションの創出を展開してまいります。

いわせ　じろう
岩 瀬　次 郎 （会津大学理事 兼 産学イノベーションセンター長）

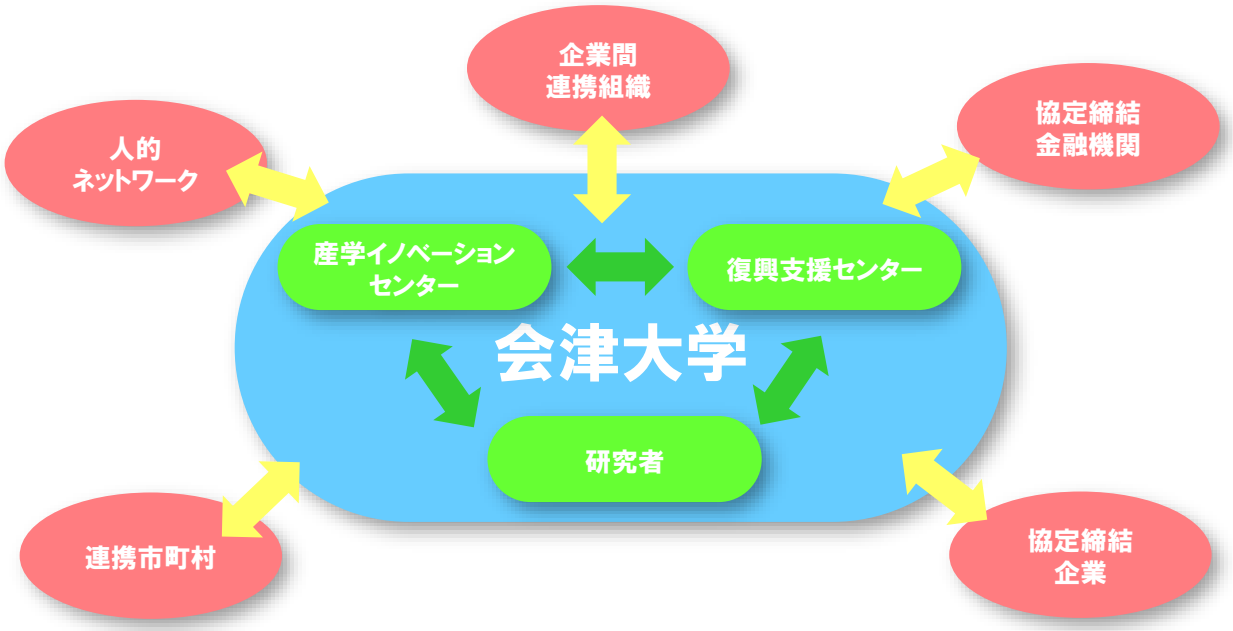
札幌生まれの京都育ち。京都大学工学部大学院卒
日本IBM入社後、米国エール大学大学院へ留学、Applied Science & School Management 修了修士
日本IBMにおいて、コンピテンシーマネジメント企画管理マネージャやソフトウェアエンジニアリングマネージャ、
コンピテンシー&スキル開発マネージャを歴任
2007年4月より会津大学理事
2010年4月、産学イノベーションセンター長に就任
2013年3月、復興支援センター長に就任

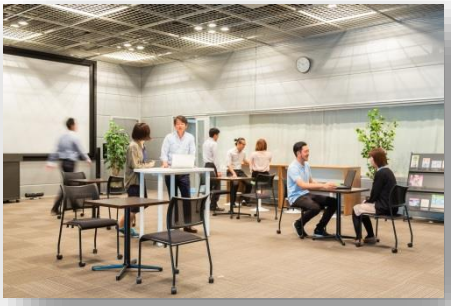
産学官連携の体制

従来の産学イノベーションセンター（UBIC）を核とした産学官連携の枠組に加え、東日本大震災・原子力災害からの福島県の復興支援を目的とした会津大学復興支援センター（ARC）を2013年3月に設立しました。

復興支援センターでは、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。

また、その拠点施設として会津大学先端ICTラボ（LICTiA）が2015年10月に開所しました。





産学イノベーションセンター
UBIC（University-Business Innovation Center）

- ■産学官連携の推進
- ■共同研究・受託研究等の推進、外部資金の導入
- ■企業等からの技術相談や経営相談
- ■人材育成、大学発ベンチャーや起業家精神の育成
- ■知的財産の管理・活用
- ■研究成果の紹介、研究者の技術シーズの情報提供
- ■最先端ICT情報を発信する産学連携フォーラムの開催
- ■ICT関連の各種講習会の開催
- ■施設の提供

復興支援センター
ARC（The University of Aizu Revitalization Center）

- ■先端ICT研究の実行
- ■革新を生み出す場の提供
- ■ICT人材の創出
- ■会津大学先端ICTラボの運営
- ■会津産学官連携クラウドの運営
- ■会津産学コンソーシアムによる意見交換
- ■ICTを活用した福島県復興への寄与
  - ・県民の安全・安心の向上
  - ・原子力災害からの復興
  - ・風評の払拭

2. UBICの主な取組

UBICでは、積極的に地域・産業界との産学官連携活動に取り組み、新産業の創出や地域活性化の促進に貢献しています。

会津産学懇話会との取組

会津産学懇話会は、1993年4月の会津大学開学と相俟つように、1993年12月に会津地区経営者協会有志により設立された大学支援団体です。毎月の定例会をはじめ、会津大学と会津産学懇話会の交流会・先進地視察等により、産学連携と会津地域の産業振興のための事業を展開しています。

定例会

月に一度、朝食をとりながら意見交換会を開催しています。

サマーイブニングパーティ

毎年夏には、教員の家族と産学懇話会会員がパーティを通して交流を深めています。

福島県警察との連携

近年、深刻化するサイバー空間での脅威へ対処していくため、会津大学と福島県警察は、2015年11月に「サイバーセキュリティに関する覚書」を締結し、サイバーセキュリティに係る人材育成等に協力していくことになりました。

2017年11月、12月には、県警主催の「サイバーセキュリティリーダー養成講座」が先端ICTラボ(LICTiA)で開催され、計337名が参加し、サイバー犯罪の情勢やその手口、それを未然に防ぐためのセキュリティ対策、リスクマネジメント等について講義が行われました。本学教員も講師として参加しました。

会津IT秋フォーラム

※会津大学・会津産学コンソーシアム主催

会津IT秋フォーラムは、会津大学から福島県内外に最新のITに関する情報発信を行い、会津大学のIT拠点機能の強化を図ることなどを目的として、2007年度から毎年度開催しております。

2015年度以降は、会津大学・会津産学コンソーシアムが主催者となり、2017年度は「次の時代を切り拓くIT人材と技術」をテーマとして開催いたしました。

～次の時代を切り拓くIT人材と技術～

【 開催日：2017年10月20日（金） 会場：会津大学・会津若松ワシントンホテル 】

特別講演　サイバーファーストへの進化 ～ インターネット前提のDigital-Native Transformation ～

東京大学大学院 情報理工学系研究科
教授 江崎　浩　氏

特別講演　Society5.0/Connected Industriesの実現と地域経済社会における展開

経済産業省　東北経済産業局
地域経済部長 蘆田 和也　氏

専門セミナー

【開催テーマ】
- トラック A：セキュリティとIT新技術
- トラック B：AI
- トラック C：地域連携

学生によるライトニングトーク

【発表研究テーマ】
- IoT向けネットワークシミュレータ
- ロボットミドルウェアによる災害対応ロボットとドローンの制御
- ニューラルネットワークの推論過程を理解するには?
- 指先に装着するセンサーによる筆跡復元
- ブレインコンピュータインターフェースを用いたヒューマンロボットインタラクション

3. LICTiAの主な取組

女性プログラマ育成塾

会津大学では、県内ICT関連企業に就職を希望する県内外の女性を対象に、「女性プログラマ育成塾」を開講しています。

本事業は、e-ラーニング（オンライン講座）を中心とするICT技術の基本やプログラミングのスキルを習得する機会を提供し、更に県内ICT企業への就労に結び付けることで、福島の復興創生に不可欠なICT人材の確保及び女性活躍の場の創造に資することを目的としています。

3段階のステージを用意しており、ICT技術以外にも、顧客対応や情報セキュリティの基礎知識、コンプライアンス等、人間力の養成も組み込まれた内容となっています。

AOI会議

会津大学では、研究と産業ニーズの意見交換を行う場として、「会津オープンイノベーション（AOI）会議」を設けています。

大学の研究シーズを主体に「1対1」の関係で進められる従来型の産学連携とは異なる、「多対多」の新しい産学連携体制を構築しています。これは、ニーズの段階から多様な議論・想像を活性化させ、革新的な技術やビジネスモデル、あるいは新たなニーズを創出するための共創の場となっており、年間を通して多種多様な会議が開催されています。
（2017年度開催実績：367回）

4. 研究技術の活用

新技術説明会

会津大学が有する研究成果や特許等について、企業関係者等を対象とした研究技術説明会を開催しています。2017年度は、科学技術振興機構（JST）と共同で「情報処理応用技術　新技術説明会」を開催し、多くの来場者にお越しいただきました。

説明会では、大学教員自らが実用化を想定した説明を行い、企業ニーズとのマッチングを目指しています。また、説明会を通して、参加企業の要望に応じた技術相談を行うことで、産学官連携を推進しています。

開催日： 2018年3月6日（火）
会　場： JST東京本部別館1Fホール
（東京・市ケ谷）

1　前方に移動する単一車載カメラの動画像からの静止・動的距離の動画像再構成

理事長兼学長　岡　隆一

視野の前方に移動するカメラによる動画像には、前方風景についてよく知られた運動視差の現象がある。近いものほど放射方向に早く動く現象である。この現象を画素の運動軌跡として抽出し、かつその軌跡を実際の距離に変換する方式を提案する。これにより、前方視野の風景を、静的・動的距離の動画像として再構成する。

2　データ共有に基づく再現可能なステガノグラフィー技術

教授　趙　強福

再現可能なステガノグラフィーを実現するためには、秘密データの保管方法だけではなく、そのデータ量をできるだけ抑えることも必要である。本技術は、送信者と受信者が同じ「単語帳」を共有することによって、文書、画像、音声などの秘密データをインデックス列に変換する。そして、ロスレス圧縮方法を利用してデータ量をさらに減らす。

3　心電図を用いた呼吸検出方法

上級准教授　朱　欣

本技術は、単一誘導心電図から心電図成分を除去し、呼吸に関連する筋電図を抽出し、呼吸波形を推定する。手術中・手術前後など、在院中の患者の呼吸計測及び監視や、日常睡眠における睡眠時無呼吸症候群の睡眠障害者の呼吸数・心拍数監視、日常生活における慢性閉塞性肺疾患、喘息などの呼吸障害患者の呼吸数・心拍数監視などに応用できる。

4　手書き文字を自由に認識・記録するデバイス

准教授　荊　雷

この技術は、指先にセンサーを取り付けることで手書き文字を認識するものである。専用のペンやタブレット等を必要としないため、機器や書き場所の制約を受けない自由な文字認識が可能である。

5　電力効率と性能効率の良い深層学習アレイプロセッサ

准教授　富岡　洋一

畳込みニューラルネットワークの計算において多くの割合を占める畳込み層の計算を最小ステップ数で実行する、低消費電力かつリアルタイム処理に適した3次元アレイプロセッサの構成とそのデータ転送方法について発表。

共同研究等

本学との共同研究等をご検討の際は、コンピュータサイエンスを専門とする教員（約110名）の中から、研究テーマに最適な教員を紹介いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

■共同研究

共同研究とは、企業等の外部機関の研究者･技術者と本学の教員が共通のテーマについて研究を行う制度です。目的やご希望に応じて、以下の3つの形態から選択することができます。

① 研究に要する経費を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

② 共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

③ 研究に要する経費と共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

■受託研究

受託研究とは、企業等からの受託により本学の教員が研究を行う制度です。研究に必要な経費は、委託者のご負担となります。

■奨学寄附金

奨学寄附金とは、教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に、企業等から寄附金を受け入れる制度です。

共同研究等の開始までのフロー

共同研究等の希望についてUBICに相談

→ 制度及び教員の紹介

↓

打合せ
（研究テーマ、期間、金額などを決定）
- 教員と研究内容について打合せ
- UBICと契約内容について打合せ

↓

申込書の提出

↓

契約締結

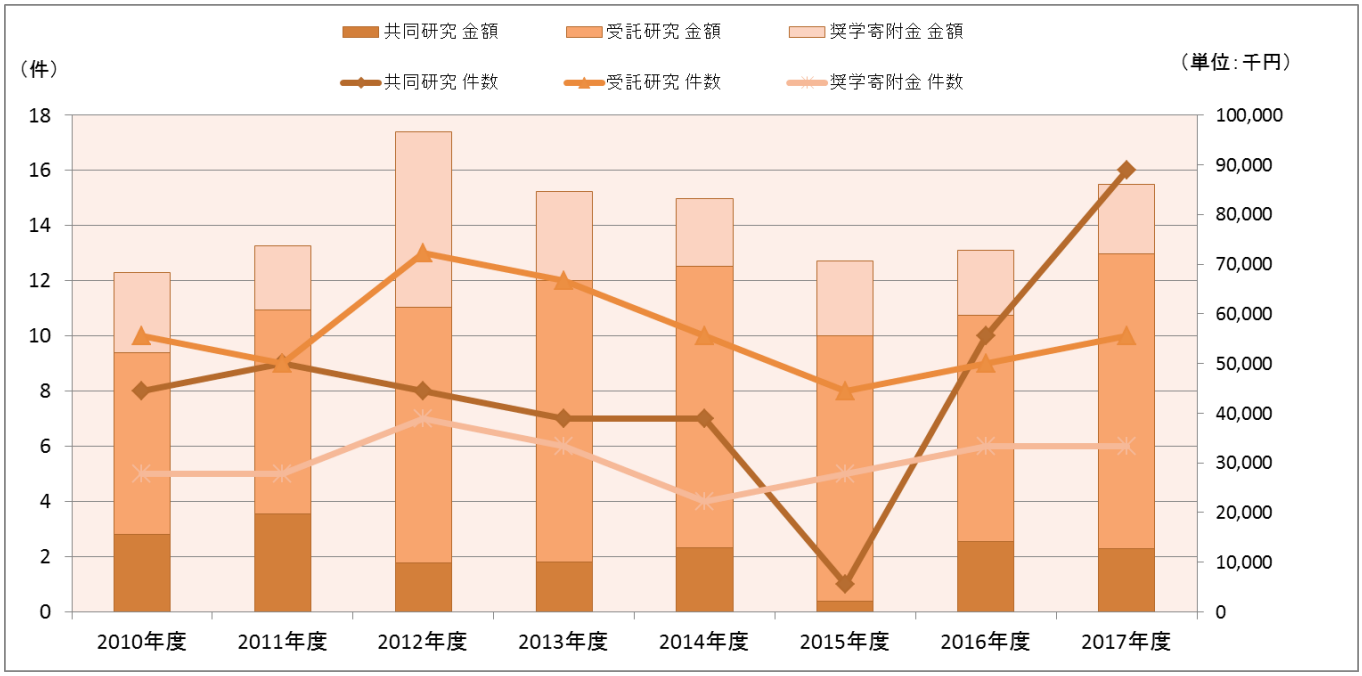
↓

費用の納付

→ 研究スタート

共同研究等の実績

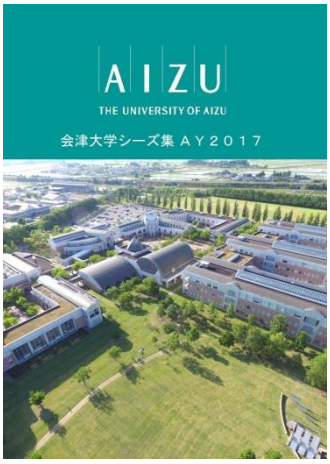
2018年3月31日現在



シーズ集の発行

UBICでは毎年、大学の研究成果や技術をまとめたシーズ集を発行しています。
是非ご活用ください。

※　シーズ集は、UBICホームページでもご覧いただけます。
http://www.ubic-u-aizu.jp/kenkyu.html



また、UBICでは企業の皆様からの技術相談や産学連携のマッチング相談を随時受け付けています。
会津大学の技術に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】 産学イノベーションセンター（UBIC）
☎ ：0242-37-2776（代表）
HP：http://www.ubic-u-aizu.jp
✉ ：ubic-adm@ubic-u-aizu.jp

出願済特許一覧

2018年7月31日現在

	出願番号	発明の名称	登録番号
1	特願2003-432771	立体形状物の生成方法	特許第4675042号
2	特願2004-067762	生体情報処理システム	特許第4633373号
3	特願2004-067782	生体センサ装置	特許第4633374号
4	特願2004-255617	身体状態監視装置	特許第4592360号
5	特願2005-056804	編集支援プログラムおよびプログラム編集の支援方法	特許第5164032号
6	特願2005-291717	呼吸心拍監視装置	特許第4863047号
7	特願2006-005599	対象物のタグ情報と位置情報とを特定するための無線ICタグ用タグ情報読み書きシステム	特許第5048247号
8	特願2006-034343	多変数決定木構築システム、多変数決定木構築方法および多変数決定木を構築するためのプログラム	特許第4997524号
9	特願2006-034344	多変数テスト関数生成装置、多変数テスト関数生成システム、多変数テスト関数生成方法および多変数テスト関数を生成するためのプログラム	特許第4997525号
10	特願2006-075524	音像定位装置及び音像定位方法（※株式会社タムラ製作所との共同出願）	特許第4689506号
11	特願2006-075525	音像定位装置及び音像定位方法（※株式会社タムラ製作所との共同出願）	特許第4949706号
12	特願2006-337242	利用人数算出システム、利用人数算出方法および利用人数算出用プログラム	特許第4936523号
13	特願2007-114211	月経周期推定装置および月経周期推定方法	特許第5099751号
14	特願2008-075279	ワンタイムパスワード認証システム、ワンタイムパスワード認証方法、ワンタイムパスワード生成プログラム、ワンタイムパスワード認証プログラムおよびワンタイムパスワード生成装置	特許第5164204号
15	特願2008-230593	センサ装置、センシング情報収集システム、センシング機能代替方法およびセンシング機能代替プログラム	特許第5099777号
16	特願2009-005682	画像パターンマッチング装置、画像パターンマッチング方法および画像パターンマッチング用プログラム	特許第5247481号
17	特願2009-094620	アレイプロセッサ	特許第5519951号
18	特願2009-297581	立体音響生成システム、その制御方法及び制御プログラム	特許第5472613号
19	特願2010-170828	複素型直交変調器、複素型直交復調器及びこれらに用いる直交ミキサ	特許第5574293号
20	特願2010-262195	ジェスチャ認識装置及びジェスチャ認識方法	特許第5733656号
21	特願2011-018668	ストローク生成装置、ストローク生成方法、ストローク生成プログラム、文字生成装置、文字生成方法および文字生成プログラム	特許第5713707号
22	特願2011-024333	画像生成装置および画像生成プログラム	特許第5642583号
23	特願2011-093262	ホルダ認証システム、ホルダ認証端末、基底画像生成装置およびホルダであることの認証に利用される記録媒体	特許第5767003号
24	特願2011-239897	体内臓器の動画像生成装置および体内臓器の動画像生成方法（※ 一般財団法人竹田健康財団との共同出願）	特許第5879098号
25	特願2012-163332	動画像処理装置および動画像処理プログラム	特許第5608194号
26	特願2012-204403	センサネットワークシステム及びセンサネットワークシステムにおけるデータ取得方法	特許第5943476号
27	特願2012-227771	秘密情報隠蔽装置、秘密情報復元装置、秘密情報隠蔽プログラムおよび秘密情報復元プログラム	特許第5913041号
28	特願2013-024166	類似系列区間検出装置および類似系列区間検出プログラム	特許第6061714号
29	特願2013-188978	水田除草ロボット（※玉川エンジニアリング株式会社との共同出願）	特許第6260951号
30	特願2013-262523	誤り耐性ルータ、これを使用するIC、及び誤り耐性ルータの制御方法	特許第6284177号
31	特願2014-051566	電子測角器及び測角プログラム	特許第6338268号
32	特願2014-044834	深部温度計	特開2015-169551号
33	特願2014-041620	移動軌跡解析装置及び方法（※ NTT未来ねっと研究所との共同出願）	特許第6044937号
34	特願2014-087842	視覚復号型秘密画像分散法、及びこれを実行するプログラム	特開2015-206922号
35	特願2014-139370	再生可能エネルギーを利用した情報処理システム	特開2016-018302号
36	特願2015-139322	クロスモーダル感覚分析システム、提示情報決定システム、情報提示システム、クロスモーダル感覚分析プログラム、提示情報決定プログラム及び情報提示プログラム（※筑波大学との共同出願）	特開2017-021613号
37	特願2015-177680	ドローンおよびドローン群	特開2017-052389号
38	特願2015-196698	それぞれコントロールユニットを有する非ブロック光スイッチを用いる光ネットワーク・オン・チップシステム、及びその光ネットワーク・オン・チップのセットアップ方法	特開2017-069899号
39	特願2015-204608	近似同期式ＣＤＭＡ通信システム及び通信方法	特開2017-076922号
40	特願2015-207660	災害時情報管理システム、これに用いるサーバ装置及び端末装置	特開2017-079023号
41	特願2015-217618	植え込み型除細動器の植え込み部位での体内電気伝導様式をシミュレーションするコンピュータ装置及びシミュレーション方法	特開2017-086268号
42	特願2016-063390	スピーカから再生される音の定位化方法、及びこれに用いる音像定位化装置	特開2017-183779号
43	特願2016-098424	被験者の識別・反応機能を計測するための識別・反応計測装置、及び被験者の識別・反応機能の計測を実行制御するプログラム（※共同研究者との共同出願）	特開2017-205191号
44	特願2016-100732	ネットワークオンチップ用の欠陥耐性ルータ	特開2017-208736号
45	特願2016-146033	ロボットを操作する装置、その装置において実行される方法およびプログラム	特開2018-015824号
46	特願2017-158781	画像距離算出装置、画像距離算出方法および画像距離算出用プログラム	特開2018-040789号
47	特願2017-120278	携帯端末を用いた察知エージェントシステム、察知エージェントシステムにおける機械学習方法、及びこれを実施するためのプログラム	特開2018-045679号
48	特願2016-205061	手書き文字認識装置、検出装置および処理装置	特開2018-067132号
49	特願2016-214993	仮想通貨を運用するためのシステムおよびそのシステム内で用いられる装置、方法、プログラム	特開2018-073268号
50	特願2016-227628	浴槽式心電モニタリングシステム、これを用いる入浴中疾患発作の検知方法、最適入浴条件設定方法、健康状態解析方法及び、これらの実行の制御プログラム	特開2018-082893号
51	特願2017-043073	手書き文字によるユーザ認証システム	（未公開特許）
52	特願2017-117686	データ処理装置、及びこれにおけるデータ処理方法	（未公開特許）
53	特願2017-124730	認証装置、認証方法及びコンピュータプログラム	（未公開特許）
54	特願2017-192767	音声認識装置および音声認識プログラム	（未公開特許）
55	特願2017-162242	屋内位置特定システム、携帯端末及びコンピュータプログラム	（未公開特許）
56	特願2017-156805	秘密データの隠蔽方法、これを実施するプログラム、及び秘密データ通信システム	（未公開特許）
57	特願2017-235198	動画像距離算出装置および動画像距離算出用プログラム	（未公開特許）
58	特願2017-218953	3DネットワークオンチップのためのTSV誤り耐容ルータ装置	（未公開特許）
59	特願2018-018854	認証システム、認証方法及びコンピュータプログラム	（未公開特許）

5. 教育活動・起業サポート

会津IT日新館

～ベンチャー人材育成プログラム～

会津IT日新館は、大学が地域のベンチャーや企業、自治体と連携し、地域や企業のニーズに対応したテーマを持つベンチャー体験工房群を構成し、挑戦する精神と技術力を持つ人材育成に取り組んでいます。

ベンチャー基本コース

ベンチャー基本コースは、より実践的なビジネス知識が習得できるように、「知識編」と「講義」で構成された授業です。「知識編」では、ビジネスに関連した知識を系統的に学び、ベンチャー精神育成に必要な知識を習得することができます。「講義」では、各分野で活躍している多彩な外部講師によるタイムリーな話題に触れることができます。

ベンチャー体験工房

ベンチャー体験工房は、より少人数で実践的な教育手法として注目されているPBL（プロジェクト形式の課題解決型学習）を取り入れた授業です。

大学や地域、企業の課題を見つけ、チームで一つの開発テーマに取り組み、実践します。

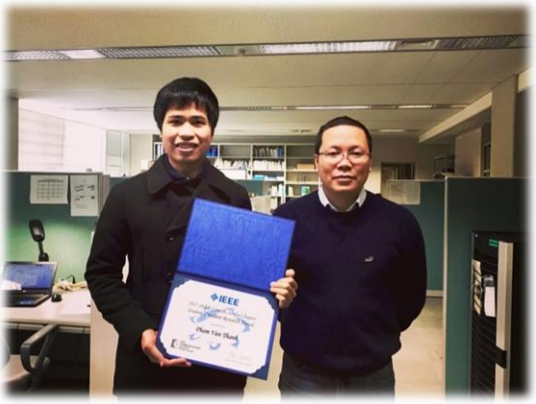
また、企業の技術者から直接指導を受け、ベンチャー創業活動や産業界での実務に近いソフトウェア開発などの疑似体験をすることにより、起業家精神の醸成を行っています。

学生の活躍

2017 IEEE ComSoc仙台支部学生優秀研究賞を受賞

2018年1月9日、Pham Van Thanh（ファム ヴァン タイン）さん（博士後期課程2年、指導教員：アントゥアン ファン教授）は、「2017 IEEE ComSoc仙台支部学生優秀研究賞」を受賞しました。

この賞は、研究分野で優れた成果を収めた東北地方の学生を対象とし、毎年最大3人の学生が選ばれます。



起業サポート

起業支援の取組について

会津大学では、以下のような創業支援・起業支援の取組を行っています。

◆会津大学発ベンチャーの称号付与

本学の研究成果や資源等を活用して起業したベンチャーに対して、「会津大学発ベンチャー」の称号を授与しています。

称号を受けた事業者に対しては、創業支援・起業支援に関する様々なサポートを行っています。

2018年5月24日に行われたTAKLAMへの、会津大学発ベンチャー称号授与式の様子

2018年7月31日現在の会津大学発ベンチャー（認定順）

No.	企業名	事業内容	認定日
1	株式会社会津ラボ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2007/02/28
2	株式会社心電技術研究所	医療福祉健康関連の情報処理システムの開発販売輸出入貿易、情報管理、及び情報提供サービス業務ほか	2007/02/28
3	SORA有限会社	コミュニケーション用ソフトウェアシステムの開発及び販売ほか	2007/02/28
4	株式会社Eyes,JAPAN	コンピュータの操作方法の指導、コンピュータシステムの企画調査及びコンサルティングほか	2007/02/28
5	株式会社シンク	コンピュータに関わる各種ビジネスシステムの企画、コンサルタントほか	2007/02/28
6	株式会社ニセンエックス	コンピュータのシステム開発及び販売ほか	2007/02/28
7	天糸瓜ネット合同会社	プロバイダサービス、ホームページ作成、各種プログラム開発、ネットワーク管理業務	2007/07/25
8	株式会社デザイニウム	映像・情報・広告宣伝媒体等の企画、編集、製造、販売	2007/07/25
9	株式会社GClue	コンピュータシステム関連の出版業務、コンピュータソフトウェアの分析、設計、開発、販売、コンピュータによる情報提供サービスほか	2007/07/25
10	有限会社フロンティアオンライン	コンピュータソフトウェアの開発、操作に関する指導、ソフトウェア及びハードウェアの販売	2007/07/25
11	株式会社T&Iコミュニケーションズ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2012/08/01
12	株式会社あくしゅ	クラウド基盤構築、システム開発ほか	2012/10/11
13	株式会社PLISE	システム開発	2014/03/18
14	ノグチキカク	ホームページ作製・運用保守、オープンソースCMSのカスタマイズ、WEBアプリ、モバイルアプリの開発・運用保守ほか	2015/03/03
15	株式会社ウェブレッジ	Webサービス改善コンサルティング事業、Web＆モバイル・ソフトウェアテスト事業、開発ソリューション事業ほか	2015/05/19
16	株式会社FaBo	プロトタイピングツール「FaBo」の開発・販売ほか	2016/06/30
17	株式会社dott	Webシステム・アプリ・サイトの企画開発運営ほか	2016/06/30
18	株式会社ミンナノチカラ	社会起業家育成のための教育研修・支援、就職・再就職・転職のための教育研修・支援ほか	2017/09/26
19	TAKLAM	コンサート・ライブ・イベントの運営業務、ライブ・イベントステージ等の制作や企画、デジタルコンテンツの制作ほか	2018/05/24

◆研究開発室等の利用と法人登記

本学の教員又は学生が起業したベンチャー（設立5年以内）などを対象として、産学イノベーションセンター（UBIC）の研究開発室及びブース型オフィス※を提供しています。「会津大学発ベンチャー」の称号を授与された企業は、研究開発室・ブース型オフィスの入居にあたって、使用料の減免措置を受けることができます。

また、本学施設を利用して事業活動を行うベンチャーは、入居期間中、本学を法人登記の所在地として活用することができます。

※研究開発室・ブース型オフィスのほか、復興支援センター先端ICTラボのプロジェクトルームの使用も可能です。

6. UBIC利用案内

■**開館時間**　午前8時30分～午後5時

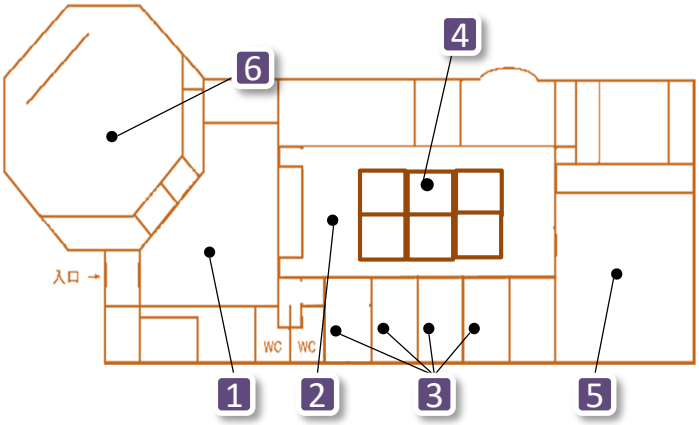
■**休　館　日**　土曜日、日曜日、祝日、年末年始

■**申込方法**　事前申込制

※使用する施設･システムの空き状況については、電話、Eメール等によりお問い合わせください。

※申請書はUBICホームページからダウンロードできます。

※使用単位中「1回」とあるのは、次に掲げる時間です。
①8:30～12:30　②13:00～17:00



無料施設

1 エントランスホール

技術相談や共同研究の打合せ、あるいは情報交換や休憩等にご利用いただけます。ビジネス書を中心とした約300冊の蔵書を自由に閲覧することのできるスペースもあります。

2 オープンスペース

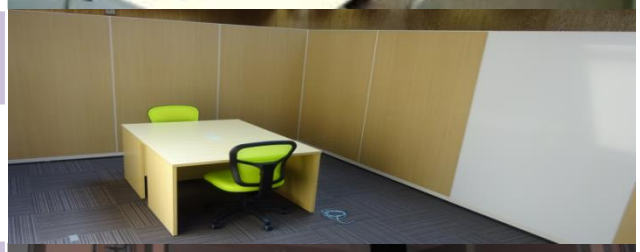
会議用の机、椅子を設置しています。無料で開放していますので、少人数でのミーティングや作業スペースとしてお気軽にご利用いただけます。

有料施設

3 研究開発室
使用料　432,000円/1室1年

産学連携の拠点として、研究開発室を4室用意しています。
大学との連携のもと、IT分野の研究開発や、新規ビジネス創出の場として、スタートアップをはじめとした企業の方々に貸し出しを行っています。（※詳細は13ページをご覧ください。）

4 ブース型オフィス
使用料　259,200円/1室1年



産学連携の拠点として、ブース型オフィスを6室用意しています。
大学との連携のもと、IT分野の研究開発や、新規ビジネス創出の場として、スタートアップをはじめとした企業の方々に貸し出しを行っています。（※詳細は13ページをご覧ください。）

5 運動解析ルーム
使用料　16,200円/1回

赤外線を反射するマーカーを人体や物体に装着することにより、人間や物体の動きをデータとしてコンピュータに取り込むことができます。スポーツ技術の向上、リハビリ器具の開発、伝統芸能の保存など、運動状況の把握や解析にご利用いただけます。

6 3Dシアター
使用料　21,600円/1回（50名程度入場可能）

高輝度高精細液晶プロジェクタ、200インチスクリーン、ワイヤレスマイク等を備えたプレゼンテーション用の空間を提供します。数十人規模でのセミナーや研究会の開催、その他プレゼンテーションの場としてご利用いただけます。

研究開発室・ブース型オフィス

UBICでは、会津大学の技術を活用し、ICTに関する研究開発を支援する施設として、企業等の皆様に「UBIC研究開発室」及び「UBICブース型オフィス」を提供しています。

■使用対象者

（1）会津大学の教員と共同でコンピュータソフトウェア又はハードウェアに関する研究開発を行う福島県内外の企業、各種団体、又は個人。（※毎年度更新、最長3年以内で利用可能）

（2）会津大学の教員又は学生が起業した法人（設立後5年以内の法人に限る）、又は起業しようとする個人。（※毎年度更新、最長5年以内で利用可能）

■概要

◆研究開発室◆

（1）部　　屋　　数：4室

（2）面　　積：24㎡（1室）

（3）使用料（光熱水費込）：432,000円（1室1年、税込）

（4）研究開発室内では、机、椅子、電気、水道、ネットワークが使用可能です。

（5）コンピュータおよび周辺機器、電話等の必要な機器については、使用者側で準備していただきます。

◆ブース型オフィス◆

（1）部　　屋　　数：6室

（2）面　　積：15㎡（1室）

（3）使用料（光熱水費込）：259,200円（1室1年、税込）

（4）ブース型オフィス内では、机、椅子、電気、ネットワークが使用可能です。

（5）コンピュータおよび周辺機器、電話等の必要な機器については、使用者側で準備していただきます。

■使用者決定の流れ

（1）公募開始　※研究開発室・ブース型オフィスの空き状況等により、公募の時期や内容が異なります。
※公募の際には、UBICホームページ等でお知らせします。

↓

（2）使用者の選定　※『会津大学産学イノベーションセンター研究開発室使用者選定基準』に基づき選考します。

↓

（3）使用者決定の通知、入居手続きの開始等

産学連携専任教員

UBICでは、共同研究のコーディネートから発明・特許の管理まで、産学連携に必要なサポートを実施いたします。技術相談や事業化に関わる相談等を幅広く受け付けていますので、是非お気軽にご相談ください。

産学イノベーションセンター
教授
石橋　史朗

産学連携活動を進めていく中で、防災、環境、高齢化社会などの課題解決に、情報通信技術を少しでも役立てていければと考えています。また大学内外における教育活動を通じて、次の世代を担う若い方々の育成にも貢献できればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

産学イノベーションセンター
准教授
リサーチアドミニストレータ
藤井　靖史

産学公連携の要である、信頼関係の構築、オープンな議論、課題設定に尽力したいと思っております。地域にある様々な課題に対してフットワーク軽く取り組んでいきます。
さらに、外部との接点を多く提供することで、皆が活躍できる環境を一緒に構築していきたいです。

産学イノベーションセンター
准教授
難波　雅善

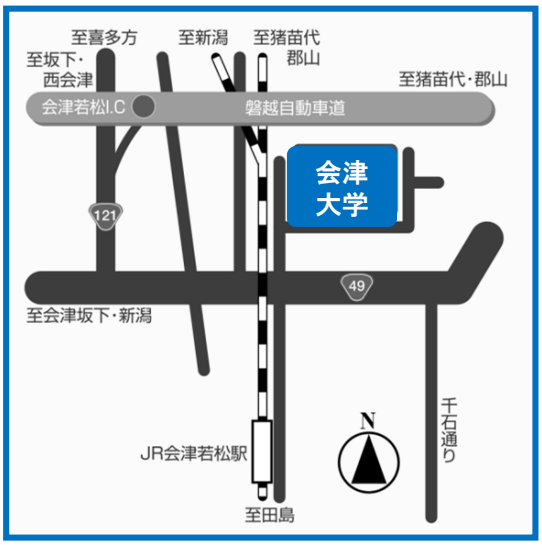
会津大学産学イノベーションセンターでは、イノベーションに必要不可欠な、異なる企業・研究者・技術をつなぐ役割を担っています。既存技術の延長線上の発展・実用化だけでなく、全く新しいアイデアの実現などもお手伝いできればと思います。ぜひご推薦・ご相談ください。

復興支援センター
上級准教授
岡　裕之

2018年7月より経済産業省の特許庁から会津大学に出向させて頂くことになりました。どのような場所に居ようとも自ら考えて行動する随処作主の精神で、頂いた機会と皆様とのご縁を大切にしつつ、地域内外の産学官連携の深化、知財制度の普及啓蒙などに力を尽くしたいです。

ＵＢＩＣインフォメーション

◆ アクセス



＜キャンパスマップ＞

会津大学産学イノベーションセンター（UBIC）

〒965-8580　福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電　　話：　０２４２－３７－２７７６

ＦＡＸ：　０２４２－３７－２７７８

Ｅメール：　ubic@u-aizu.ac.jp

ホームページ：　http://www.ubic-u-aizu.jp/

会津大学産学イノベーションセンターのFacebookページもございます。

UBIC　Facebook

会津大学
産学イノベーションセンター